平成27年1月7日健康福祉局健康部保健医療課感染症係

名古屋市内でインフルエンザ患者の報告数が 急増しています!

― 例年よりも早い流行となっておりますので、早めの予防と受診を心がけましょう! ―

1 概要

本市では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、市内の70医療機関を定点として、インフルエンザの発生動向を調査しています。この調査によると、平成26年第52週(12月22日(月)から12月28日(日)まで)における1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数*(16区平均)が、15.39となりました。南区では、国立感染症研究所の警報の指標(5(2)注参照)である「30」を上回ると共に、報告数が「30」にせまる区も複数あります。

今後、市内において、さらなるインフルエンザ患者報告数の増加が予想されますので、早めの予防と受診を心がけて、感染の拡大を防ぐことが重要です。

※1定点医療機関当たりの報告数:

定点医療機関(市内70医療機関)からの1週間の総報告数÷定点医療機関数

2 インフルエンザについて

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性呼吸器感染症で、現在、国内にて大きな流行を引き起こすインフルエンザウイルスはA/H1N1亜型(いわゆるA/H1N12009)、A/H3N2亜型(いわゆる香港型)、B型の3種類があります。感染経路には、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。感染後、1~3日間程度の潜伏期間を経て、発熱(38℃以上)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然出現し、咳・鼻水などの上気道炎症状が現れます。1週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。高齢者や乳幼児などは、重症化することがありますので、特に注意が必要です。

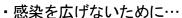
3 インフルエンザの予防と受診について

- ・ 予防するには…
 - ○人ごみ等への不要不急な外出を控え、帰宅時には手洗い・うがいをしましょう。 ○バランスのよい食事、適度な運動、十分な睡眠をとり、体調を整えましょう。



早めの受診を…

- ○かかったかなと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。
- ○安静にして、十分な睡眠をとり、水分を補給しましょう。



- ○感染を広げないためにも、「咳エチケット」を守りましょう。
 - ~『咳エチケット』とは~
 - ◎症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努めましょう。
 - ◎咳・くしゃみの際にはハンカチやティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
 - ◎使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。

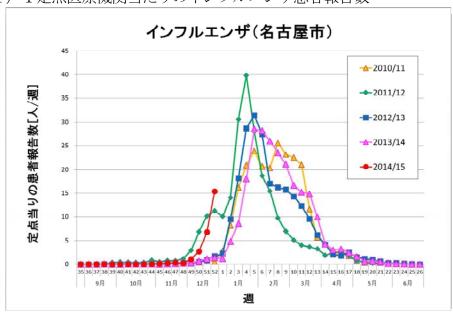
4 その他

- (1) 本市のインフルエンザ流行状況等は、名古屋市公式ウェブサイトの下記 URL に情報を掲載しております。ご参照ください。
- ア 感染症発生動向調査からのインフルエンザ発生状況について http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-9-0-0-0-0-0.html
- イ 集団かぜによる学級閉鎖等の状況について http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0.html
- (2) 全国のインフルエンザ流行状況等は、下記の厚生労働省の URL をご参照ください。

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html

5 本市におけるインフルエンザ発生状況

(1) 1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数





(2) 本市全域における1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数 (過去3週間)

	名古屋市	愛知県 (本市を含む)	全国 (愛知県を含む)
定点医療機関数	70	195	約 5, 000
50 週 (12/8 - 12/14)	2. 69	3. 44	7. 38
51 週 (12/15 - 12/21)	6. 77	9. 17	15. 17
52 週 (12/22 - 12/28)	15. 39	20. 23	_

注 全国の定点あたり患者報告数が「1」を超えると、流行シーズンに入ったと考えられます。また、国立感染症研究所感染症情報センターが運営する「警報・注意報発生システム」においては、定点あたり患者報告数が「10」を超えると 注意報が、「30」を超えると警報が発令されます。

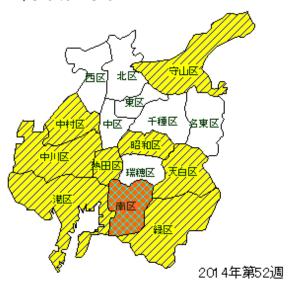
(3) 区別における1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数 (過去3週間)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和
定点医療機関数	5	4	5	4	5	4	5
50 週 (12/8-12/14)	0. 20	0. 50	0.80	2. 50	1. 60	0. 75	1. 60
51 週 (12/15-12/21)	4. 40	1. 25	1. 60	6. 00	2. 60	1. 75	4.80
52 週 (12/22 - 12/28)	6. 00	7. 00	9. 00	8. 50	14. 20	6. 75	11.60

瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
5	4	4	4	4	5	4	4	4
1. 20	2. 00	3. 25	4. 75	7. 25	7. 60	1. 00	6. 50	2. 25
1. 60	14. 00	8. 00	10. 75	21. 00	9. 60	10.00	7. 75	7. 25
9. 00	15. 75	23. 50	23. 25	55. 75	23. 00	15. 75	9. 00	13. 00

(4) 各区のインフルエンザ患者報告状況

インフルエンザ



定点あたり患者数(人)	色
10未満	
10以上30未満	
30以上	\ggg

名古屋市衛生研究所ウェブサイトより引用

6 集団かぜ(インフルエンザ様疾患)による学級閉鎖等の措置状況

平成26年10月28日、今シーズン初めて、名東区の高針台中学校(市立)より集団かぜ(インフルエンザ様疾患)による学級閉鎖の措置を実施するとの連絡がありました。その後、平成27年1月7日午後3時までに、29施設で学級閉鎖等の措置が実施されています。

	休校 (園) 数	学年閉鎖校 (園)数	学級閉鎖校 (園)数	計
保育園				
幼稚園		1	1	2
小学校		4	13	17
中学校		1	8	9
高等学校				
その他			1	1
総計		6	23	29